

小谷村通学路交通安全プログラム

～通学路の安全確保に関する取組の方針～

平成27年2月

小 谷 村

1. プログラムの目的

平成24年8月に小・中学校の通学路を平成25年9月には、雨中地区において、関係機関と連携して緊急合同点検を実施し、必要な対策内容についても関係者で協議してきました。

引き続き、通学路の安全確保に向けた取組を行うため、このたび、関係機関の連携体制を構築し、「小谷村通学路交通安全プログラム」を策定しました。

今後は、本プログラムに基づき、関係機関が連携して、児童生徒が安全に通学できるように通学路の安全確保を図っていきます。

2. プログラムの策定及び構成員

関係機関の連携を図るため、以下のメンバーを構成員とし、本プログラムは、この会議で議論し、策定しました。また、必要に応じて、小・中学校各団体と連携し、意見等を聞きながら、その都度修正していきます。

【構成員】

- ・長野県大町建設事務所
- ・長野県大町警察署
- ・小谷村（教育委員会・建設水道課）
- ・小谷小学校・小谷中学校先生
- ・小、中学校PTA
- ・大町地区交通安全協会小谷支部

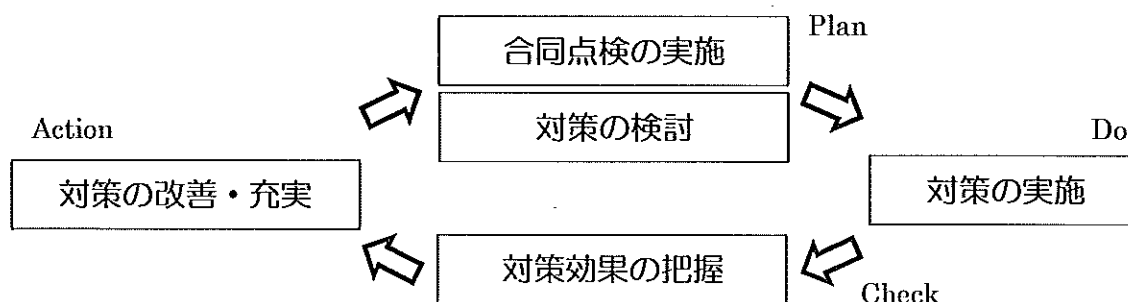
3. 取組方針

(1) 基本的な考え方

継続的に通学路の安全を確保するため、緊急合同点検後も合同点検を継続するとともに、対策実施後の効果把握も行い、対策の改善・充実を行います。

これらの取組をPDCAサイクルとして繰り返し実施し、通学路の安全性の向上を図っていきます。

【通学路安全確保のためのPDCAサイクル】



(2) 定期的な合同点検

○合同点検の実施時期等

- ・構成員等で、それぞれ年に1回、合同点検を実施します。
- ・実施時期は、積雪時の危険箇所の把握も必要であることから、夏期と冬期を交互に行います。
- ・効率的・効果的に合同点検を行うため、小、中学校等からの要望を聞いた中で、重点課題を設定した後、合同点検を実施します。

○合同点検の体制

- ・小学校、中学校、教育委員会、道路管理者、警察、交通安全協会、連絡員、PTA等が参加する合同点検を行います。

(3) 対策の検討

- ・合同点検の結果から明らかになった対策必要箇所について、箇所ごとに、歩道整備や防護柵設置のようなハード対策や交通規制や交通安全教育のようなソフト対策など対策必要箇所に応じて、具体的な実施メニューを検討します。

(4) 対策の実施

- ・対策の実施にあたっては、対策が円滑に進むよう、関係者間で連携を図ります。

(5) 対策効果の把握

○合同点検結果に基づく対策実施後の箇所等について、実際に期待した効果が上がっているのか、また児童生徒等が安全になったと感じているのか等を確認するため、

- ・地域住民へのアンケートの実施
- ・車両と歩行者の離隔を測定

など、対策実施後の効果を把握するための手法を検討し、対策効果の把握を実施します。

(6) 対策の改善・充実

- ・対策実施後も、合同点検や効果把握の結果を踏まえて、対策内容の改善・充実を図ります。

4. 箇所図、箇所一覧表の公表

- ・小中学校が近く、また通学路も同じことから、点検結果や対策内容について、関係者間で認識を共有するため、「対策一覧表」及び「対策箇所図」をまとめて作成し、ホームページ等で公表します。

【別添資料】

別添① 対策一覧表

別添② 対策箇所図